

区割り案の協議について（案）

(区割り案で考慮すべき点)

人口規模



「特別区の大きさ」に関する視点

集積性



地域性

「特別区を構成する行政区の
組み合わせ」に関する視点

移動手段

分けて議論要



『人口規模』をどうするかは、今後の事務分担、財政調整、職員体制などの検討に大きく影響



『人口規模』と、組み合わせの大きな要因となる『集積性』
『地域性』『移動手段』は分けて、まず『人口規模』から議論して
はどうか

視点毎の論点

「特別区の大きさ」

人口規模

- 将来人口で考えるのか、現在の人口で考えるのか
- 30万人と45万人の2パターンで検討するのか、それ以外の人口規模でのシミュレーションも考えるのか

主な論点

「特別区を構成する行政区の組み合わせ」

集積性

- 北区と中央区を合体して集積性を高めるのか、分離して多芯化を図るのか
- それ以外の視点、例えば、都市のエリア毎の発展方向を考慮した組み合わせを考えるのか

地域性

- 地域や行政区の結び付きとして、過去の分区・合区の経過を考慮した組み合わせでいいのかどうか

移動手段

- 住民が移動・交流できる環境として、鉄道網などの状況を考慮した組み合わせでいいのかどうか